



## 第7回和牛甲子園

- 応募スケジュールの発表
- 注目校インタビュー

“高校牛児”のみなさん、こんにちは！和牛甲子園事務局です。  
第02号では、大会応募スケジュールの発表、さらに注目校にインタビューを行い、大会の意気込みを語っていただきました。

### ■ 開催日程

2024年1月18日(木)・19日(金) 全2日間

【体験発表会・褒賞式】

品川グランドホール

【枝肉勉強会・共励会】

東京食肉市場株式会社

### ■ 応募スケジュール ※募集要項・各種申込書は和牛甲子園webサイトを確認下さい。

2023年  
8月8日(火)

2023年  
8月8日(火)

2023年  
9月20日(水)

2023年  
11月24日(金)

2024年  
1月18日(木)  
19日(金)

プレスリリース

受付開始

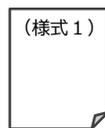
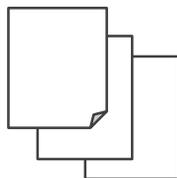
受付締切

出品登録期限

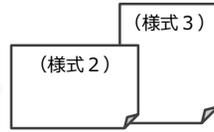
開催



募集要項発表



出品応募表提出



枝肉共励会出品申込書・  
体験発表会事前審査資料提出



和牛甲子園

申込書	内容
様式1 出品応募表	出場の確認、出品牛頭数の確認、連絡先
様式2 枝肉共励会出品申込書	出品牛名前、性別、個体識別番号、血統、素牛産地、 生年月日、導入年月日、子牛登記等
様式3 体験発表会事前審査資料	キャッチフレーズ、学校・地域紹介、発表要旨、 出品予定牛写真、集合写真等

## ■注目校インタビュー①「神奈川県立中央農業高等学校」

前回大会取組評価部門にて優秀賞受賞

3年生女子3人組に意気込みを聞いてきました。



✎回答者

左 : 伊沢さん  
中央 : 宗像さん  
右 : 関さん

### Q.神奈川県立中央農業高等学校について教えてください。

A.畜産科学科、農業総合科、園芸科学科の3学科があり、農業分野に特化して色々なことを生徒中心で取り組める高校です。特に畜産科は、実際に動物と触れ合って学び、普通高校ではできない『いのち』の大切さも学べます。

### Q.和牛甲子園に出場する経緯・きっかけは？

A.和牛甲子園は1年生の時から参加しています。1、2年時は、日頃から和牛に対して真摯に向き合い、愛情を注ぎ飼育する先輩の背中を見てきました。昨年は念願であったA5等級を獲得でき、涙が出るほど感動しました。自分たちの代でも先輩達のように愛情を注ぎ、今までの成果を大会で発揮できたらと思います。

### Q.今回の出品牛にはどんな思い出がありますか？

A.今回の出品牛は、私たちが入学して2週間後に生まれた牛で、思い入れの強い牛です。名前は『黒男4』といいます。普段からブラッシング・洗体など基本をしっかり行い、愛情込めて飼育しています。牛への愛情は、誰にも負けません！

### Q.大切に飼育している中で、大変なこともありましたか？

A.大変なことは多々ありましたが、一番は毎週行っている体測です。今や700kg近くある牛を女子3人で扱うため、興奮状態で暴れてしまう時は、命の危険を感じます(笑)。

### Q.最後に、大会参加にむけた意気込みをお願いします！

A.高校生活の集大成としていい結果を残せるように、この3人で最後まで頑張りたいと思います。取組部門でも枝肉部門でもいい結果を出して、最優秀賞取るぞー！

## ■注目校インタビュー② 「岐阜県立加茂農林高等学校」

第1回大会から参加する常連校！  
動物専攻班の皆さんに意気込みを聞いてきました。



### Q.岐阜県立加茂農林高等学校の特色を教えてください。

A. 「生産科学科」「食品科学科」「森林科学科」「環境デザイン科」「園芸流通科」の5学科が設置されており、肉用牛は「生産科学科」で飼育しています。その中で2、3年生の「動物専攻班」が中心となり肉用牛の飼育を担当しています。

### Q.飼育のこだわりはありますか？

A. IoTを活用したスマート畜産に取り組んでいます。ルーメン温度の変化や血液検査の結果から肥育牛の健康状態を確実に把握し、的確に対応できるようにしています。

また、今年度より飼料米を導入し、飼料価格高騰への対応や日本の飼料自給率向上に寄与する取り組みも行っています。

### Q.今回の出品牛にはどんな思い出がありますか？

A. 今回の出品牛は1頭（去勢）が自家生産牛、1頭が（雌）導入牛で、愛情を込めて大切に育てています。昨年、先輩方は双子生産という難しい内容に取り組み、双子の肥育牛を出品することができました。先輩方に負けぬように私たちも頑張りたいです。

### Q.将来の目標・進路・夢を教えてください。

A. 卒業後は飛騨牛農家さんを指導する指導員の道を考えています。利益だけではなく、可能な限り牛の幸せを考えた生産方法を農家さんと作り出していきたいです。また、経験で得た知識や体験談を発信し、畜産の情報をみなさんに知ってもらいたいと考えます。

### Q.最後に、大会参加にむけた意気込みをお願いします！

A. 私たちは「飛騨牛」ブランドを背負って出場します。審査員、全国の皆様に「飛騨牛」のすばらしさを評価していただけるよう、全力で取り組んでいます。大会で良い結果を残して、これまでお世話になった方々に恩返しをしたいと思います！

ニッポンの  
美味しいを共に創る

# ちくさん クラブ21

## ■ちくさんクラブ21（4月号）に 第6回和牛甲子園の様子が紹介されました。

### ■ちくさんクラブ21とは？

JA全農 畜産生産部が組合員向けに年4回  
（4.7.10.1月）発行し、産地の取組み、生  
産性向上の優良事例等を紹介する総合情報誌。



QRコードから  
ちくさんクラブ21を  
チェック！



<https://www.chikusan-club21.jp/>

4月号に、栃木県立宇都宮白楊高等学校  
7月号に、岐阜県立加茂農林高等学校  
のインタビュー記事が掲載されています。

## 和牛甲子園webサイト

情報更新中。

<https://wagyukoushien.com/>

